

30周年記念事業の概要

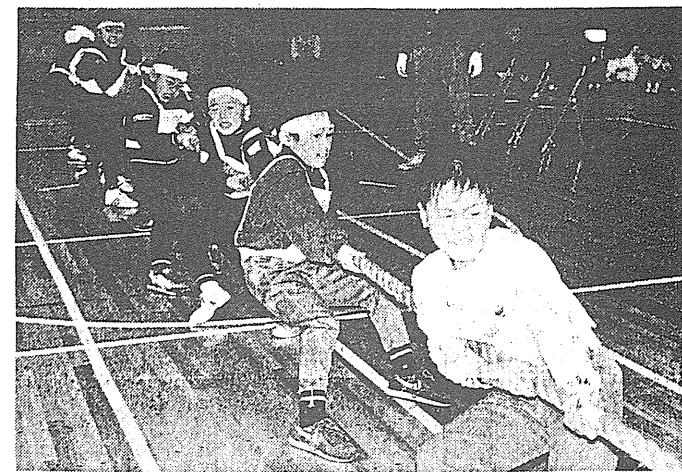
力自慢19チームが熱戦

幕別で全町綱引き大会

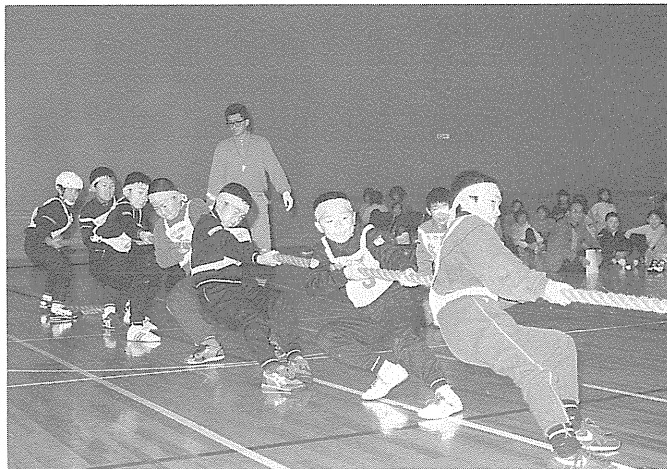


【幕別】幕別町体育連盟設立三十周年記念事業第一回全町綱引き大会が二十九日、同町トレーニングセンターで開かれた。

小学校三・四年生男子の部から一般の部まで十九チーム、約二百人が参加した。木村正夫同連盟会長のあいさつ、二川勝美町教育長の祝辞に続いて明倫公区OBチームの黒沼卓吉さん(三)もが元氣よく選手宣誓。各部門ごとトーナメント、リーグ戦で優勝が争われ、八チーム参加の一般男子の部で美川ブラックストロング(高島富治監督)がスピリットチーム(征島喜郎監督)を破り初優勝した。成績は次



小学3・4年の部の熱戦



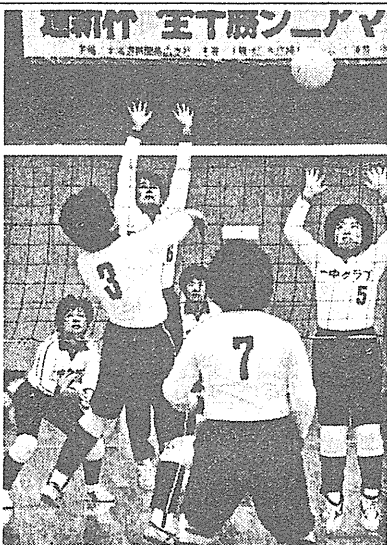
- の通り。
- ◇男子▽小学校三・四年
 - ①幕小四年青組②同赤チーム
 - ▽同五・六年①ビックアニ
 - マルス②古舞小▽一般①美
 - 川ブラックストロング②スピ
 - リット③途別Aチーム
 - ◇女子▽小学三・四年①
 - 幕小四年青組②同赤チーム③
 - 古舞小▽同五・六年①フィ
 - リックス②ドスコイ▽一般
 - ①途別②カラ・ニコ・ニコ

さわやかな汗

室内スポーツ花ざかり

冬本番を迎え、二十七日も水戸下七・四度と冬一番の冷や込み。そんな寒気を吹き飛ばせと、帯広市の体育施設では室内スポーツが花盛り。帯広の森体育館で初の道新シニアママさんバレーボール大会、帯広町では全町綱引き大会が催され、さわやかな汗を流した。

北海道新聞帯広支社主催、いしづかで開催した。このほか、市総合体育館の第一回道新杯全十勝シニ 試合は凡人制で行われ、ママさんバレーボール大 五ノ越を越す選手も交えた。会は四十歳以上の婦人が対バレーボール選手十人以上の大会の男女別決勝、決勝戦で、ママさんバレーの生ベテランをのいたが、若い戦や十勝杯は種よく大会が、非スポーツ化が、帯広、人に行かないわ」と気遣の、催された。



五中ジュニア初V

道新杯シニアママさんバレー
幕別では全町綱引き大会

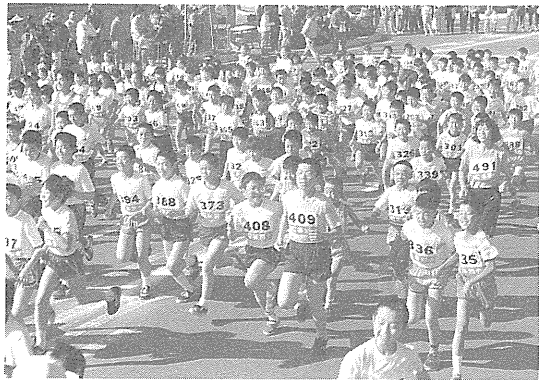
④40歳以上に見えぬほつらつプレーのシニアママさん⑤エイヤーと、一生懸命に綱を引く幕別の小学生たち



子八チーム、同女子一チーム、小学生九チームが参加。大半がほとんど経験のないチームだが、慣を真しはつて懸命に綱を引き、各地坂への応援も大いに盛り上がりついていた。同連盟では要件以降も開くこととして、

▽バレーボール 第一回道新杯全十勝シニアママさん大会(20日・帯広の森体育館)
▽準決勝 五中ジュニア 2-0 コスモス
▽決勝 五中ジュニア 2-0 コスモス

30周年記念協賛 「開町記念マラソン大会」



幕別体育連盟30周年記念事業推進のための組織と記念事業について

1. 実行委員会設立趣旨

豊かな人間性を陶冶するためには、健康づくりが基盤になります。そのためにはスポーツの生活をはかり自分の健康は自分の手でつくりあげるといふ考え方や、みんなでつくりあげていくという考え方にたち、本体育連盟も昭和33年に創立以来30周年を迎えるに至りました。

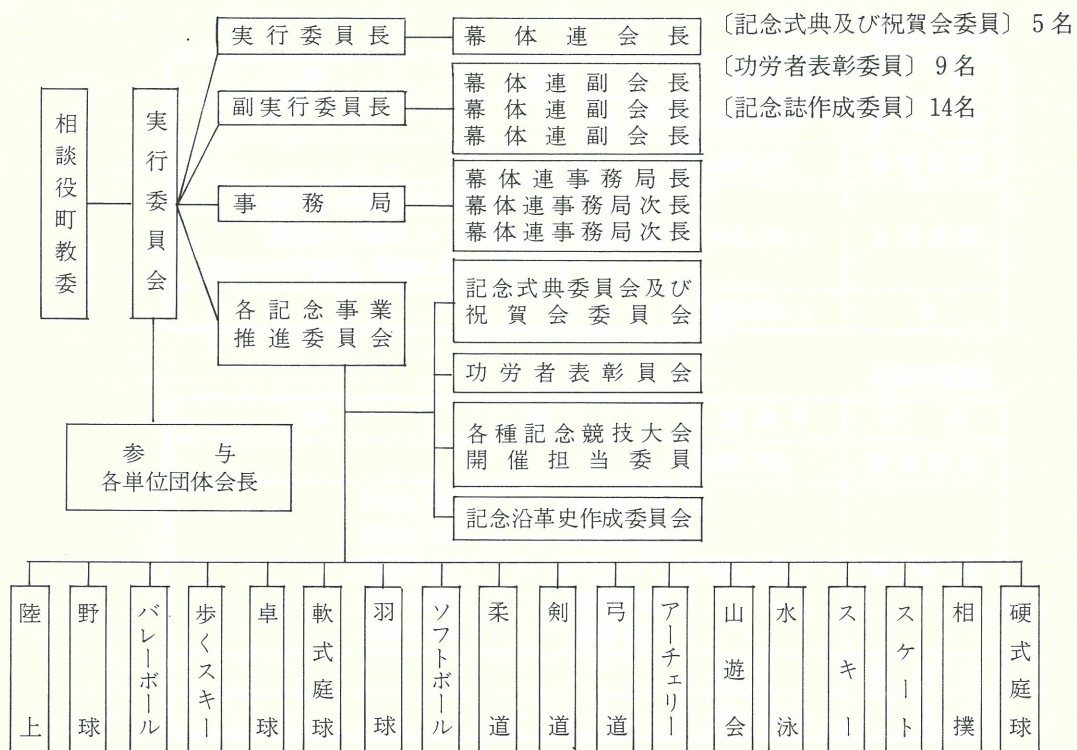
この間多くの方々の御苦勞と御努力を賜り年を増す毎に充実した組織になってまいりました。これを機会に幕別町体育連盟30周年記念事業を展開し、本連盟に加盟する各団体の連帯を強め、更に健康づくりに貢献できる団体に躍進すべく30周年をスタートとして、各層の意見を反映させるためにも実行委員会を組織し下記の記念事業をみんなの力で成功させたいと考えます。

- 記念式典及び祝賀会の開催
- 体育連盟功勞者表彰
- 各種記念競技会の開催
- 幕別町体育連盟30年のあゆみの作成
- 幕体連記念テレホンカードの作成

2. 実行委員会組織

3. 各記念事業推進委員の係分担

(◎委員長 ○副委員長 事務局長)



3. 実行委員会日誌

昭和62年 3月26日	体育連盟役員会「30周年記念事業の取り組みについて」協議
3月30日	町補助金を要請（三役）
5月1日	定期総会にて、実行委員会を設立
5月29日	第1回実行委員会
6月18日	第2回実行委員会
7月9日	第3回実行委員会
8月26日	体育連盟三役・事業委員会役員会合同会議
9月24日	第4回実行委員会
10月10日	開町記念マラソン大会（体育連盟30周年記念協賛）
11月20日	全町綱引き大会監督会議
11月29日	全町綱引き大会（体育連盟30周年記念事業）開催
12月7日	第5回実行委員会
1月14日	体育連盟三役、式典委員会合同会議
1月22日	体育連盟理事回「記念式典の取り組みについて」協議
2月19日	体育連盟設立30周年記念式典

4. 収支予算案

【収入の部】

科 目	予 算 額	説 明
助 成 金	300,000	町より
体 連 基 金	760,000	
事 業 収 入	1,365,000	祝賀会費 225,000円 (1,500円×150名) 記念誌代 500,000円 (1,000円×500冊) テレホンカード代 640,000円 (800円×800枚)
計	2,425,000	

【支出の部】

科 目	予 算 額	説 明
事 務 局 費	200,000	
事 業 費	2,220,000	祝 賀 会 270,000円 記 念 誌 代 650,000円 テ レ ホ ン カ ー ド 700,000円 表 彰 関 係 200,000円 記 念 事 業 400,000円
予 備 費	5,000	
計	2,425,000	

5. 実行委員名簿

- 実行委員長 木村正夫(旭町・幕別町体育連盟会長)
- 副実行委員長 貝森拓司(札内桂町・幕別町体育連盟副会長)
- 林一夫(南町・幕別町体育連盟副会長)
- 多田順一(札内文京町・幕別町体育連盟副会長)
- 事務局 岩井浩(緑町・幕別町体育連盟事務局長)
- 末吉康弘(旭町・幕別町体育連盟事務局次長)
- 菅好弘(緑町・幕別町体育連盟事務局次長)
- 森脇登(寿町・幕別町体育連盟事務局会計)

◎記念式典及び祝賀員委員会

- 委員長 片桐武夫(本町・幕別町体育連盟監事)
- 副委員長 高橋耕三(明野・歩くスキー)
- 事務局長 佐々木美江子(錦町・陸上)
- 委員 林一夫
- 畑山弘子(札内中央町・幕別町体育連盟監事)

◎功労者表彰委員会

- 委員長 松本純一(宝町・ソフトボール)
- 副委員長 橋本正司(旭町・剣道)
- 事務局長 渡辺緑朗(南町・陸上)
- 委員 貝森拓司 古川耕一(旭町・スキー)
- 森脇登 加藤哲夫(南町・弓道)
- 三好政男(新町・野球) 千葉敦彦(南勢・軟式テニス)

◎記念誌作成委員会

- 委員長 西出元(南町・アーチェリー)
- 副委員長 吉田照男(錦町・野球)
- 副委員長 田中雅(南町・ソフトボール)
- 事務局長 佐々木房男(札内共栄町・柔道)
- 事務局次長 坂口惣一郎(旭町・バレーボール)
- 委員 多田順一
- 末吉康弘
- 八代芳雄(旭町・水泳)
- 堂前護(緑町・相撲)
- 篠島忠博(千住・羽球)
- 橋本猛夫(新町・山遊会)
- 駒井三郎(札内青葉町・卓球)
- 羽賀夫(緑町・スケート)
- 中本準一(札内桂町・硬式テニス)